

事件番号	件 名	議決結果
議案第31号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議案第32号	指定管理者の指定について(糸満市障害者地域活動支援センター陽だまり)	原案可決
議案第33号	指定管理者の指定について(糸満市観光農園)	〃
議案第34号	字の区域の変更について	〃
議案第35号	市営土地改良事業(農業用道路)の施行について	〃
議案第36号	市道の路線認定について	〃
議案第37号	訴えの提起について(建物収去土地明渡等請求事件)	〃
議案第38号	訴えの提起について(糸満市中央市場店舗明渡等請求事件)	〃
議案第39号	債権の放棄について(糸満市中央市場店舗使用料)	〃
	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書(決議)の採択を求める陳情書	採 択
議員提出 議案第1号	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書の提出について	原案可決
	沖縄県出身の特定失踪者の救出についての陳情	採 択
	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	〃
議員提出 議案第2号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書の提出について	原案可決
	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情書	採 択
議員提出 議案第3号	「手話言語法」制定を求める意見書の提出について	原案可決
	平成27年度「商工業振興事業補助金」の確保について(要請)	採 択
	水道本管設置について要請	不採択
	「所得税法の寡婦控除規定の改正を求める意見書」採択に関する陳情	継続審査
	住民の安全・安心を支える国の公務・公共サービス体制の充実に求める陳情書	〃
	船舶税制(住民税)の減免に関する申し入れについて	〃
	住民の安全・安心を支える「国の出先機関の原則廃止」に関する要請書	〃
	住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情書	〃
	「生活保護基準引き下げ」中止を政府に強く求めるとともに、「附帯決議」の内容を周知徹底し、申請権・受給権を保障し、申請拒否・就労強要、扶養強要などの「人権侵害」は行わないことを求める陳情書	〃
	糸満市に雨天練習場をつくりプロ野球キャンプ誘致について	〃
	労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の採択を求める要請書	〃
	議会基本条例制定について(陳情)	〃
	一般質問時の市当局の答弁の改善について(陳情)	〃
	早期の議会報告会開催について	〃
	議員派遣の件	決 定
	平成27年度における糸満観光農園に関する調査経費について	〃
	閉会中の継続審査(調査)の申し出について	〃

意見書

第1回定例会では3件の意見書を可決しました。

年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

あて先：衆議院議長、参議院議長
内閣総理大臣、厚生労働大臣

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書

あて先：内閣総理大臣、厚生労働大臣
財務大臣、文部科学大臣、総務大臣「手話言語法」制定を求め
る意見書

あて先：内閣総理大臣

市政をただす

一般質問

平成27年第1回定例会では、3月11日、12日、16日、17日の4日間にわたり、20人の議員が一般質問を展開しております。質問については、1人1項目を要約して紹介しております。詳しい内容につきましては、市議会事務局や市立中央図書館に備えてあります会議録を御覧ください。なお、会議録は市議会ホームページからも御覧いただけます。

①農業に活用するリサイクル水とはどのようなものか。
 ②農業用水として利用はあるか。
 ③リサイクル水の利点とリスクは。
 ④北部地域の農業生産力がどのように変わるか。

市長 ①糸満市浄化センターの放流水をリサイクル水プラントで再処理した安全性の高い水源である。②沖縄県がリサイクル水の農業用水可能性調査を実施中である。水質的には問題がないことから、コストの問題が解消できれば、平成28年度以降の事業化をめどに作業を行っている。

経済観光部長 ③水源が都市排水であることから枯渇することがなく、水質基準もしっかり管理され、計画的に良質で安全、定量の農作物生産が

リサイクル水(再生水)による、糸満市北部地域の渇水対策と農業振興について



上原 正次 議員



糸満市北部地域（座波地内）

容易に行われることから、農家所得の向上が図られる。リスクについては、風評被害等があるが、生産、流通、消費者との徹底したリスクコミュニケーションを行い、安全性の情報共有並びに啓蒙を行う必要がある。④リサイクル水の活用は付加価値の高い農作物への転換はもとより、インベーションの誘発要因となり得る資源として、地域の営農構造を飛躍的に改善させ、農業振興、農家所得の向上に資する可能性を秘めている。

上原 北部地域の農業生産高に大きな変革をもたらすと思う。ぜひ実現に向け、強い働きかけをしていってほしい。

平成27年 第1回 (3月) 定例会

第1回定例会は、3月2日から3月20日までの19日間の日程で開催されました。

同定例会には、市長から人権擁護委員候補者の推薦に関する諮問1件、平成27年度糸満市一般会計予算などの議案39件及び報告1件の提出がありました。

また、議員提出議案として意見書3件の提出がありました。

議案等の処理結果については、12ページに掲載してありますので、御参照ください。

・兼城小学校校舎新増改築事業	5654万円
・消防車購入事業	6888万円
・生涯スポーツ推進事業	8345万円
・真壁前田原線整備事業	3000万円
・糸満市中央市場整備事業	2444万円
・糸満市観光農園周遊道路整備事業	4470万円
・糸満市観光農園周遊道路整備事業(真壁小)	3243万円
・公的放課後児童クラブ設置事業	2億8350万円
・小規模保育施設促進事業	1億718万円
・生活困窮者自立支援事業	1億4000万円
・防災拠点整備及び防災連絡用道路整備事業	1億4000万円
・防犯拠点整備及び防災連絡用道路整備事業	1億4000万円
・生活困窮者自立支援事業	1億718万円
・小規模保育施設促進事業	1億718万円
・公的放課後児童クラブ設置事業	2億8350万円
・糸満市観光農園周遊道路整備事業	4470万円
・糸満市中央市場整備事業	2444万円
・真壁前田原線整備事業	3000万円
・生涯スポーツ推進事業	8345万円
・消防車購入事業	6888万円
・兼城小学校校舎新増改築事業	5654万円

平成27年度一般会計予算

本案は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ244億86万円とするものです。主な新規事業は次のとおりです。



(仮称) 文化・平和・観光振興センター建設予定地

平成27年度一般会計予算について、議員8名から、文化交流・情報発信拠点施設整備推進事業(基本設計費等)9375万円を減額する修正案が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

市は一括交付金を活用し、西崎の県水産海洋技術センター跡地に、市民会館機能を備えた(仮称)文化・平和・観光振興センターの建設を計画しています。

否決

平成27年度一般会計予算に対する修正案

人権擁護委員候補者の推薦について

本案は、人権擁護委員法第6条第1項の規定に基づき委嘱される本市の人権擁護委員として、森山和則氏を候補者として推薦するため、同条第3項の規定により、議会の意見を求められたものです。

糸満市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について

本案は、議員、市長、副市長及び教育長の期末手当について、沖縄県の改定を踏まえ、期末手当の支給割合を年100分の295から100分の310に引き上げるため、条例の一部を改正するための議案です。

教育委員会委員の任命について

本案は、現委員の島袋榮子氏の任期が、平成27年3月31日をもって任期満了することに伴い、新たに神村逸子氏を



障害者地域活動支援センター陽だまり

両案は、公の施設である糸満市障害者地域活動支援センター陽だまり及び糸満市観光農園の指定管理者を指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定により、あらかじめ議会の議決を求められたものです。

指定管理者の指定について(糸満市障害者地域活動支援センター陽だまり)及び(糸満市観光農園)

教育委員会委員として任命するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意を求められたものです。



翁長知事のカジノ検討中止を伝える新聞記事

平成25年度に未整備の箇所の道路拡張工事に着手し、測量業務を終え、現在用地交渉を行っているそうだが、進捗状況を伺う。

市長 県に問い合わせたところ、県道82号線と市道狭間線が接道する付近は、既に用地買収を終え、現在、発注に向けて準備中とのことである。また、市道座波1号線との接道付近は未買収地が2筆あり、現在、交渉中とのことである。大城 これから工事に着手すると思うが、県道82号線は八重瀬町の小城から座波を通って、潮平の国道331号まである。その中でも未整備な箇所が何カ所かあると思う。農免農道と交差している箇所は見通しが悪く、出会い頭の事故が結構ある。県のほうに調



県道82号線と農免農道の交差点

整して、工事区間を延長することはできないか伺う。

建設部長 県では市道座波1号線までは歩道として拡張するが、それ以降については、兼城ハイツのところに既に歩道があるということで、現段階では市道座波1号線までの歩道の拡張だと話をしていた。大城 アパートも建ち始めています。子供たちの通学人数もふえると思う。また同交差点は、出会い頭の事故が多く、農免農道が優先なのか、県道が優先なのかわかりにくいので、ちゃんと整備して、どこが優先かわかるように、ぜひ県と協議して進めてほしい。



(仮称)文化・平和・観光振興センターの事業概要を紹介するチラシ

建設部長 現地を調査して、その旨、県のほうに話をしてみたいと考えている。

市長 ①市が持つ豊かな文化資源を適切に収集、保管、活用、公開し、市の進める誰もが訪れたいくなるまちづくりを推進し、同まちづくり関連事業や既存観光振興を目的に拠点施設の整備を行う。

新垣 新議員

①事業の概要を伺う。②旧水産試験場跡地に市民会館の機能を含む文化交流・情報発信拠点施設の建設が決まった。経緯と土地代について伺う。③維持管理費について、専門家から一般的に40億円規模の箱物には約2億円規模の維持管理費がかかるかと説明を受けたが、そのようになると伺う。

市長 ①市が持つ豊かな文化資源を適切に収集、保管、活用、公開し、市の進める誰もが訪れたいくなるまちづくりを推進し、同まちづくり関連事業や既存観光振興を目的に拠点施設の整備を行う。

糸満市文化交流・情報発信拠点施設の建設について



新垣 新議員

た委員会の審査で、基本計画や市の関連施策との整合性を含む14の審査基準から、糸満漁港中地区が優位であり、さらに事業効果や用地取得の実現性なども勘案し、県水産海洋技術センター跡地が最適としている。また、同候補地を鑑定評価した際、11億3533万8000円と報告があった。今後、用地交渉があり、支払うべき土地代が鑑定評価額より少額となるよう努めている。③職員数や事業規模に応じた約2億4500万円から約1億6800万円と試算している。さらに指定管理制度導入により、2、3割程度の維持管理費の圧縮が予想される。

新垣 毎年2億円前後の維持管理費が出ていく。箱物をつくるのは簡単。つくった後が大変。維持管理が懸念される。

建設部長 ①今のところ申請は1件もない。②糸満市住宅リフォーム支援事業補助金交付要綱に通路等の拡張、階段の勾配の緩和、浴室改良、便所改良、手すりの取り付け、階段の解消、出入口の戸の改良及び滑りにくい床材料への取りかえの8項目が補助対象工事としてうたわれている。菊地 これまで申請が全くないというのは、疑問でならない。市民への普及啓発は、どのように行ってきたのか。



市ホームページによる普及啓発

建設部長 申請状況がゼロとなっていて、内部で検討していきたい。菊地 地元の方々の業者がその波及効果が得られるように、対象メニューについては拡大を含めて検討していただきたい。



預かり保育を実施している西崎幼稚園

浦崎 県は明確にカジノに依存しない、ギャンブルに依存する観光はしないということを示している。これは市といかないと思う。これについてどういう考えを持っているか。

市長 翁長知事は、県知事選でカジノ誘致反対を公約に掲げ、知事選に勝利している。また、沖縄の観光資源を損ないかねないとの考えから、来年度の予算にカジノ導入の調査費を盛り込んでいない。本市にあつては国政や県政、他自治体の動向、さらに本市議会のIR調査特別委員会の調査、研究状況等を注視してまいりたいと考えている。

住宅リフォーム支援事業の推進について



菊地 君子議員

①今年度の申請状況について伺う。②助成のメニューについて伺う。

建設部長 申請状況がゼロとなっていて、内部で検討していきたい。菊地 地元の方々の業者がその波及効果が得られるように、対象メニューについては拡大を含めて検討していただきたい。

幼稚園の預かり保育について



玉村 清議員

①何カ所の幼稚園で実施されるか。②何時までか。③保育料金は幾らか。④給食費は幾らか。また保護者の負担増にならないか。

教育長 ①兼城幼稚園、糸満南幼稚園、西崎幼稚園、喜屋武幼稚園の4園での実施となる。②夏休み及び3月までの春休みを含めて、月曜日から金曜日まで午前8時15分から午後6時半まで実施予定である。③夏休みが1万円、その他の月は、5000円となる。④1食当たり189円となる。なお、喜屋武幼稚園以外の園では、春休み、夏休みの給食は提供されず、各自弁当持参とする。

浦崎 県は明確にカジノに依存しない、ギャンブルに依存する観光はしないということを示している。これは市といかないと思う。これについてどういう考えを持っているか。

ギャンブル・カジノ導入問題について



浦崎 暁議員

県議会における翁長知事のカジノ導入否定表明を受けての市の考えを伺う。

市長 翁長知事は、県知事選でカジノ誘致反対を公約に掲げ、知事選に勝利している。また、沖縄の観光資源を損ないかねないとの考えから、来年度の予算にカジノ導入の調査費を盛り込んでいない。本市にあつては国政や県政、他自治体の動向、さらに本市議会のIR調査特別委員会の調査、研究状況等を注視してまいりたいと考えている。

浦崎 県は明確にカジノに依存しない、ギャンブルに依存する観光はしないということを示している。これは市といかないと思う。これについてどういう考えを持っているか。



破損している西崎球場の日よけドーム

建設部長 構造上の問題があり今のところは拡大を予定していないが、運営上でなんとかできないか、関係者と協議を図ることも必要だと思う。

当銘 バックネットを二重にして重量がかかって大丈夫なのか。

建設部長 雨に強いポリエチレン系、そういうもので張っているのですが重量的には問題ないという確認をしている。

当銘 多目的広場のベンチは何人対応なのか。

建設部長 大人用10人である。

当銘 ほとんどの大会等は登録が20名で、ベンチに座れないという声が多くある。ぜひ、早目にベンチの増設をお願いしたいと思う。

や現在進めている路線の進捗状況を見ながら、事業化できるように検討していきたい。

金城 区民は、工事の経済効果、費用対効果等が事業終了の原因なのかと懸念しているがどうか。

建設部長 当時の説明会において、経済効果、費用対効果等の説明があったものと思うが、現在は経済効果等の採択条件はなく、残りの区間についても時期を見て事業化を検討していきたい。

金城 先行取得されている土地が3筆もあるということである。無意味な予算の活用にならないよう、早目の対応をお願いしたい。

豊見城市との岡波島(岩)の帰属問題について



長嶺 一男 議員

①平成22年8月19日の両市事務レベルで帰属問題に係る協議後の行動を伺う。②本市に帰属するとの考えに変わりはなく、今後どういうふう

に解決していくつもりか。

市長 ②昭和52年に文化財保護委員会が作成した文書や県立博物館所蔵の琉球国惣絵図等の歴史的背景と岡波島の地理的位置から判断しても本市に帰属すると考えている。

豊見城市と那覇市が係争中であった海上境界の問題について、ことし1月28日に判決が出たので、今後事務レベルの協議を再開していきたい。

総務部長 ①平成22年以降は事務レベルの協議会は開かれていない。平成25年5月ごろに協議会開催を呼びかけたところ、現在、那覇空港南側海



西崎地先から望む岡波島(岩)

域の境界線確定問題で那覇市と係争中であり、そのことを優先させたいので岡波岩問題はそれが解決してからにしてほしいとの申し入れがあった。

長嶺 話し合いで解決できると思っているのか。

総務部長 両市とも帰属を主張しているが、県へ裁定を求めることも視野に入れることを確認している。

長嶺 先送りをせずに具体的に行動するつもりはあるか。

総務部長 海上境界の問題について2月17日に上訴したと聞いているので、当分の間は那覇市との裁判を優先するということになると思っています。協議の申し入れはしていきたいと思う。

不登校児童についての勉強会について



喜納 正治 議員

①本市の各小中学校で不登校をしている児童生徒は何名ぐらいいるのか。②不登校の児童生徒を持つ親は親同士情報交換をして勉強会をしているが、そのことについて知っているか。

教育長 ①平成27年1月現在、小学校で11名、中学校で64名。②具体的に把握していないが、気軽に相談、意見交換をする姿勢が大切だと考えている。対米請求権事業で糸満市不登校・引きこもりサポートの会が月1のペースで支援ネットワークを地域に広げる活動を行っている。教育委員会としても当会と情報を連携し対応していきたい。

喜納 不登校の子供がいる親同士、この子供たち等を集めてこういう勉強会をさせるな



適応指導教室 (とびうお教室)

どやってももらいたいと思う。教育委員会も勉強会に参加することができると伺う。

教育委員会指導部長 当然ながら親御さんたちの勉強会等に協力してやっていく姿勢については答弁のとおりで、今後はそういったことを認識しながら、深めていきたいと思っています。

喜納 その人たちの話を聞くこと、子供一人一人に対する対応の仕方がみんな変わることだ。だから勉強会をやっている。身近なところで勉強会が行われているので、ぜひそこで聞いてみてほしい。糸満市の子供たちがみんなよくなっていくよう願う。



金城 敦 議員

市道安田多原線について

豊原自治会より、市道安田多原線拡張工事の継続についての陳情書が出されている。平成20年7月の集落説明会において事業終了の説明がされているが当初の計画どおり、終点までの拡張工事を継続することは、区民総意の願いである。当時の議会で、今後、残された未整備箇所は、事業採択メニューを検討したいと答弁しているが、事業の進捗状況を伺う。



市道安田多原線 (豊原区内)

この一帯は、台風や大雨のたびに農地への冠水が発生し、農道や農家用施設等も浸水するなど、農作物等も甚大な被害を受け、問題となっているところである。①県と市は平成23年度から湛水対策協議会を設置し、その対策を検討してきたが、これまでどのような対策を講じてきたか。

②市は平成27年度に農業基盤整備促進事業を導入してその対策を講じることだが、具体的な整備計画を伺う。

経済観光部長 ①県においては、農業研究センター内の沈砂池の拡大による貯水容量の増加や、土のう設置による雨水流出対策等を行っている。

②市は農業研究センター下流側の排水路の整備を目指し、平成26年度に実施設計、27年

県農業研究センター西側の冠水対策について



山城 勉 議員

度から28年度にかけ工事を予定している。内容は同センター下流から名城土地改良区までの既設排水路の整備や、崩落している鍾乳洞の土砂撤去等及びボックスカルバートの設置である。

山城 ドリーネに土砂がたまらないよう、今回の工事は沈砂池や遊水池をつくる施工内容になっているのか。

経済観光部長 遊水池を設ける設計となっており、ごう内の入り口にスクリーンを設置することも検討したい。

山城 県や市の対応により冠水被害解消につながることに、農家や関係者は期待している。今後も抜本的対策につながる取り組みを進めてもらいたい。



県農業研究センター西側の農道

西崎運動公園スポーツ施設の整備について



当銘 真栄 議員

①西崎球場スタンドの日よけ用ドームの早急な整備。②スタンドからの転落防止柵。③多目的広場のベンチ増設について考えを伺う。

建設部長 ①国や県に公共土木施設災害復旧事業の申請を行い、沖縄総合事務局の査定により幕屋根の全面張りかえを認めてもらっている。交付申請決定後に復旧工事に着手する予定である。②老朽化等により隙間ができて、危険なところもあったので、現在ネットを二重に張って対応をしている。③今後補助事業の導入等を含め検討していく。

当銘 ファウルボール等が子供のそばに落ちたりもする、この日よけは危険防止にもなるが、安全面からもう少し工夫できないか。



舗装工事が予定されている
小波蔵367番地の1付近

伊敷 市道糸洲伊敷線について、今後の計画について伺う。
建設部長 スケジュールについては、関係部局とも相談しなければいけない部分もあるので、建設部の案として参考ということと説明すると、まず、発注のための実施設計の予算化、実施設計をつくる上において、地元とも調整しながら図面を仕上げていく、その後、対策工事ということになる。大分時間のかかる事業になるかと思う。
伊敷 いつごろまでというめどを示してもらえないか。
建設部長 実施設計の中ではつきりするが、補助事業の活用を含めて判断しなければならぬので、とにかく年度内には実施設計を発注したい。



新たな指定管理者により
リニューアルされる観光農園

経済観光部長 ①事業の柱を観光農園とフルタイムワイナリーの2本とし、ワイナリーを中心とした南国農園リゾートを事業コンセプトに掲げ、真の6次産業化の実現を目指す計画となっている。②水牛エリヤ、ヤギ・羊エリヤ、ふれあい動物コーナー、熱帯果樹園、農園エリヤ、森林アスレチック等の整備が計画されており、施設整備投資合計額は2億1050万円となっている。③ワイナリー事業は、パッションフルーツワイン製



こども医療費助成の拡充を！

造を主軸に据え、アセロラや新規アイテムの製造を計画している。平成27年度に1万3000本、平成30年度には5万本の製造計画となっている。観光農園事業は、施設のコンテナツを回り、年間約15万人から22万人の入園者を見込んでおり、同社の従業員も30名以上の雇用を計画している。
砂川 うちな一ファームが観光農園施設の有効活用にかける誠意と意気込みが伝わってくる。市としても最大限の支援、協力をしていかなければいけないと思うがどうか。
市長 市としてもしっかりと支援する必要があると考えている。その一環として、今回、観光農園施設から真栄平側に抜ける道路を整備していく。

糸満市観光農園について



砂川 金次郎議員

こども医療費助成の拡充について



新垣 安彦議員

道があった。県から市町村に対して、具体的な説明はされていないが、県の担当課に確認したところ、県同様、病院部分の助成対象を現在の3歳から就学前まで拡充する平成27年度予算案を提案しているとのことである。議員から提案のある小学校高学年まで、さらに市の単独助成を行うかについては、県の助成金交付要綱や他市町村の状況を比較しつつ、財政状況を勘案して検討していきたい。



国吉 武光議員

安全のつながるまち (防災)について

(仮称) 観光振興センターを糸満漁港中地区に想定して基本計画を進めている。市長は施政方針で安全のつながるまち(防災)で大規模、多様化する自然災害で地震や津波を想定しながら市民の生命財産を守ると述べている。当該場所では、東日本大震災クラス地震、大規模な津波が来たときに、避難場所として機能が停止してしまう。それよりも津波避難タワーを建設すべきではないか、市長の見解を伺う。
企画開発部長 避難場所としての機能については、糸満市文化交流・情報発信拠点施設整備調査委員会より、施設の目的達成を目指しつつ、災害時に市民や観光客の命を守る緊急避難ビルとしての機能を



被災地の瓦れき等(東日本大震災)

付加するなど、防災計画などとの連動性の確保が必要とされている。そのため、本施設の基本設計に取り組む中で安心、安全の機能を反映させていきたい。
国吉 瓦れきが散乱している中でどのように避難するのか。企画開発部長 基本設計を行っていく上で緊急避難ビルとしての機能を課していくという考えである。
国吉 緊急避難ビルということは災害が起きたときはそこへ避難すると思うが、瓦れきの山や道が寸断された中で避難が可能なのか。
副市長 瓦れきが堆積する前にそこに一時的に避難して、当面の安全を確保するという緊急避難ビルである。



糸満観光農園(株) 所有のレストラン

債権者集会には連帯保証人として個人的に負担している方々にも声をかけるのか。
大田 この方々がどんな思いで観光農園の連帯保証人になったのか、一市民になっているその方の個人的な財産が、大変な危機的状況に陥っている。第三セクターに万が一、経済観光部長 連帯保証人は直接的な債権者には当たらないということなので、当事者としての案内はないものか。
大田 債権者集会には連帯保証人として個人的に負担している方々にも声をかけるのか。
大田 債権者集会には連帯保証人として個人的に負担している方々にも声をかけるのか。
大田 債権者集会には連帯保証人として個人的に負担している方々にも声をかけるのか。

一債務が残った場合は第三セクターのやり方でこれを担保する。そのような手はないか。
市長 現在、清算法人でさまざまな手続をとっている。現実的には市が担保するのは非常に困難な話だと理解している。清算法人のほうでそういったところの対応はやっていただけたらと考えている。
大田 生産農家の皆さん方が物を搬入してもそれを払えない。職員に対する給与の遅配も起こる、それを連帯保証人は抱えてしまっている。ぜひともこの保証人になられた方々の気持ちを考えて、対応していただきたい。

道路行政について



伊敷 幸昌議員

①市道糸洲伊敷線地区内の地下空洞対策について、6月補正で対応できないか。②小波蔵367番地の1の前の市道について、路面舗装工事の計画はあるか。
建設部長 ①市では道路下の鍾乳洞の位置を特定するための調査を実施した。今後、地元と協議を図りながら安全対策工事に係る実施設計業務を行う必要があるため、6月補正で対応することは困難である。なお、道路の安全対策工事については早期の実施に向けて取り組んでいく。②当該道路は里道で、地域の生活道路として利用されているが、未舗装のため車両及び歩行者の通行に支障があることから、平成27年度にアスファルト舗装工事を予定している。



スポーツロッジ前の道路

場、通路の部分は公園敷地で、コニラ舗装の歩道部分は国道の敷地になっている。西平 答弁のあった場所以外にも、西崎体育館の西側あたりも暗いと思うがどうか。

建設部長 公園の東側と南側は現地を見たが、体育館西側については早急に確認したい。

西平 スポーツロッジ前の駐車場はアスファルト部分にあり、歩道なのか駐車場なのかわからない状態である。しかも暗い。薄暗い中で歩いている方も多く、非常に危険である。公園外周に故障している照明灯が15基あるとのことなので、早目に指定管理者と調整し、対応していただきたい。

市民会館の機能を有する当該施設の建設は、6万糸満市民の長年の悲願である。多くの市民は1日も早い建設を望んでいる。そこで何う。建設にかかる財源について。

企画開発部長 財源については、沖縄振興特別推進交付金の積極的活用を考えていく。これは事業費の8割を国庫で充てることができる有利な制度であり、市の持ち出しにあたる2割分についても、その半が普通交付税等で補填されるため、実質的持ち出しが事業費の1割程度となる。

比嘉 候補地選定において、審査基準及び選定結果はどうなっているか。

企画開発部長 基本設計との整合性、市の施策との整合性、中心市街地への影響、公共交

糸満市文化交流・情報発信拠点施設（仮称）について



比嘉 譲 議員

通機関からのアクセス等、14の審査基準があり、候補地検討委員会よりボウリング場跡地、造船所跡地、県産産海洋技術センター跡地の3つを合わせた地域が1位との結果報告を受けた。

比嘉 歴代の市長が市民会館の建設に取り組んだが実現できなかった。その要因は、市の財政力の弱さ、補助事業メニューがなかったことにある。歴史・文化資料館や観光振興センター等の機能を融合する当該施設は、これからの本市のまちづくりに必要な不可欠な施設であり、財政上、負担がかからないよう沖縄振興特別推進交付金を活用し、施設建設を進めるべきである。



(仮称) 文化・平和・観光振興センター建設予定地（山嶺毛から）

議会を傍聴してみませんか、どなたでも傍聴できます

定例会の日程は、決まり次第FMたまん(76.3MHz)や市ホームページでお知らせします。

傍聴を希望する方は、本会議当日、市役所4階本会議場までお越しください。

傍聴するにあたっては、議事に支障を来しますので私語を慎み、携帯電話のマナーを守りましょう。本会議中は庁舎1階ロビーのテレビでも放映しています。

詳しくは市議会事務局まで

TEL (098-840-8100)



環境保全、リサイクルについて



金城 恒 議員

本市に食用廃油を回収し、バイオディーゼル燃料へ再生させる企業がある。今までごみとして出していた油が燃料にかわる。CO₂排出量がゼロで、ごみの減量化につながり環境にもやさしい燃料である。市民生活環境課の車両もモデルとしてバイオ燃料を給油しているが、①いつから利用しているか、②軽油の単価と比較してどうか伺う。

市民健康部長 ①市民生活環境課で管理する2トントンプの燃料として、軽油にかえて平成27年1月からバイオディーゼル燃料を試験的に利用している。②平成27年2月実績で見ると、バイオディーゼル燃料単価がリッター90円に対し、軽油の燃料単価はリッター113円、リッター



バイオ燃料を使用している市の車両

当たり23円安くなっている。金城 軽油引取税が課税されないのて安いはずである。現在、バイオ燃料を使っている車両は何台あるか。

市民健康部長 2トントンプ1台である。

金城 経費削減の面からも軽油を使っている市の車両は、バイオ燃料を使っていたきたい。また、県営浜川団地自治会では、本年2月からドラム缶を設置し食用廃油を集め、企業に回収させている。これが再生されて燃料にかわるわけである。ごみの減量化は市が取り組むべきことであり、現在、市が進めている燃料ごみ処理モデル事業に食用廃油の回収も加えていただきたい。

市道C11号線の道路拡張について



玉城 安男 議員

今定例会で糸満市中央市場建てかえ計画があると聞いています。中央市場が建てかえられると車の通行も今より多くなると思うが、市道C11号線の道路拡張を進める考えはなにか。

建設部長 当該道路は糸満市中央市場の西側に位置し、商業地域における重要な道路ではあるが、現状は一方通行を余儀なくされ、商業活動や消費者の利用など、利便性に問題があり、商業地域の活性化の観点からも整備の必要性は認識している。当該道路の幅整備については、市街地内での道路整備となるため、用地補償など、かなりの事業費が見込まれるが、今後財政状況や現在進めている路線の整備状況を見ながら事業化でき



市道C11号線

玉城 当該道路の現況の延長はどのくらいか。

建設部長 現況は、延長152・5メートルである。

玉城 当該道路を県道糸満与那原線までつなげた場合、延長はどのくらいになるか。

建設部長 市道の終点から県道まで20メートルなので延長は172・5メートルになる。

玉城 糸満市中央市場の建てかえもあるので、この残り20メートルの部分を整備し、市道C11号線を県道糸満与那原線までつなげる考えはないか。

建設部長 この部分については、必要性を十分に認識しているので今後検討していきたい。

西崎運動公園について



西平 賀雄 議員

①公園内の外周に設置された照明灯の数と故障している灯数はどれだけか。②公園の周りの歩道で暗い場所はどこだと認識しているか。③市民の苦情はないか。④公園の敷地と国道糸満バイパスの境界はどの位置か。

建設部長 ①西崎親水公園の一部を含めて照明灯数は64基、うち故障中の灯数は15基である。②西崎親水公園南側中間部と西崎運動公園東側、ゼロスポーツ店の向かいあたりが暗いと認識している。③ジョギング、ウォーキングをする方から西崎親水公園2工区の南側西崎運動公園東側、ゼロスポーツ店の向かいあたりが暗いとの意見がある。④スポーツロッジ西側の通常の黒いアスファルト舗装の駐車